

津房地区公民館便り

編集・発行
津房地区公民館

電話番号
48-2001



寒中お見舞い申し上げます

今年は、元旦に能登半島地震が発生、亡くなられた方は二〇〇名を超え、三週間を過ぎた今も行方不明の方がいます。被災者の方々の生活を伝えるニュースに接するにつけ、今は恵まれている自分の生活をありがたいと感じます。

さて、最近また新型コロナウイルス感染症が増加傾向にあります。昨年は幸いにも公民館にかかわる諸行事が「コロナ前」と同様にとり行えました。また、新たな取り組みである「茶飲み市の市」も二回開くことができました。地域のみなさまのご協力に感謝いたします。

長引くウクライナへのロシアの侵攻、イスラエルとハマスの戦争など、気の滅入る出来事も多々ありますが、津房地区が活気づくよう公民館活動を進めていきたいと思っております。皆さんのお知恵やご助力を賜りますようお願い申し上げます。



津房地区公民館
館長 大坪 一郎
指導員 井福 英寿

新しくサークル活動を始めませんか？

令和6年度のサークル活動の申し込み受付期間となりました。現在津房地区公民館では、

- 囲碁(第1・3週の土曜日、午後1時から)
- 子ども英会話(第2・4週の土曜日、午後1時から)

の2つのサークルが活動しています。皆さんいつも楽しそうに活動されています。

かつては、カラオケサークルがありました。営利・宗教活動・政治活動でなければ公民館をお気軽にご活用願いたいです。

自主サークルに登録されると使用料の減免される制度があります。この機会に新しい活動を始めたいとお考えの方は公民館までご相談ください。(Tel 48-2001) 締切 2月上旬

公民館だより642号(4月)でお知らせしたように、現在

- 油絵教室(毎週火曜日 9:00~12:00)
- 編物教室(第2・4水曜日 12:00~16:00)
- 高齢者学級(毎週木曜日 13:00~16:00)※卓球
※第3水曜日は高齢者サロン(頭の体操など)
- チューブ体操(第1週を除く金曜日 13:00~14:00)
- 英会話教室(第3金曜日 13:00~16:00)

「こちらにも参加しませんか？」

なお、公民館指導員の勤務は火・水・金です。



今年も津房まちづくり協議会の会長・菅原維範氏より、シクラメンの鉢をいただきました。深紅の花びらが鮮やかです。ちなみにシクラメンの花言葉は、「遠慮」「気後れ」「内気」「はにかみ」だそうです。



冬になって公民館の周りでも動物たちを見かけなくなりました。
 中学受験の昆虫の冬の越し方を覚える語呂合わせに
 「バカたまご、トカセ幼虫、チョウさなぎ、
 ハチアリテントウ親で冬越し」というのがあります。

バッタ・カマキリ…卵
 トンボ・カブトムシ・セミ…幼虫
 チョウ…さなぎ
 ハチ・アリ・テントウムシ…親(成虫つまり



冬になっても死なない!)。皆さんが嫌いな「カメムシ」も成虫で冬越し
 しますね。家の雨戸の戸袋やシャッターの中、家の周りにおいてある
 ものの隙間などきつと潜んでいますね。

なぜ、「けもの」「とり」以外 寒いと動けないのか?



暑くても寒くても私たちが「動くことができる」のは細胞が、左の図のように食べた
 養分と肺で取り入れた酸素を使って「生きていくためのエネルギー」をつくっているか
 らです。私たちヒトの場合、細胞は約三十七兆個あるそうです。
 ※エネルギーというのは、少し説明が難しいのですが、生き物が生きるためにはエネ
 ルギーというのが必要だと思ってください。
 さて、細胞がそのエネルギーをつくる過程では、たくさん「酵素」という物質が働
 いています。この酵素という物質は、だいたい
 三十℃〜四十℃でよく働きます。「けもの」や
 「とり」は常に体温を三十五℃くらいに保つこ
 とができます。(もちろんエネルギーを使って体
 温をつくっている!)

ところが、他の動物たちは体温を一定に保つ
 ことができないので、寒くなると酵素が十分に
 働かないので「生きていくためのエネルギー」が
 つくれないうのです。だから、基本的に卵・幼虫・
 蛹・成虫など様々な形で「じつと動かない」で寒
 い冬をやり過ごすのです。

食べ物が少なくなる冬(「生きるためのエネ
 ルギー」を作れない)には「けもの」や「とり」の
 中にも冬眠をして動かないという生き方を選
 んだ種類もいますね。寒すぎても暑すぎても動
 きたくないですね。それは酵素のせい?